



学 校 日本ホテルスクール



平成31年3月20日(15,000部) 発行

2019.3 Vol.65

〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代) https://www.jhs.ac.jp http://www.jec-jp.org/ FAX.03-3360-8584

## HRSサービス技能コンクール2019

~ 厚生労働大臣賞・金賞は中村友海さんに ~ 出場者3名全員が金賞・銅賞・敢闘賞の上位入賞



去る2月21日、東京ビッグサイトで開催 された第13回HRSサービスコンクールに、 JHS杯サービスコンクールの校内予選を通 過した3名が学校を代表して出場、全国の 専門学校からの出場者22名中、全員が「カ レッジ部門」で上位入賞を果たしました。 ホテル科2年生・中村友海さんが労働大臣賞・ 金賞、ブライダル科1年生・二関桃さんが銅賞、 ホテル科2年生・波田野葵さんが敢闘賞を それぞれ受賞、素晴らしい成果をもたらしま した。

大会では、予選22名、準決勝6名、そし て決勝へは3名が進み、予選「アボカドとプ チトマトのサラダ作成」、準決勝「ローストチ キン(骨付き腿肉)のデクパージュと赤ワイ ンサービス」、決勝「ノンアルコールカクテル の作成とバナナフランベのゲリドンサービス」 と、それぞれの課題に取り組み、サービス

技能が評価されました。

同大会は、東京ビッグサイトでアジア最 大の産業展「国際ホテル・レストランショー」 開催期間に、一般社団法人日本ホテル・レ ストラン技能協会が、25歳以下の学生を対 象にした「カレッジ部門」、30歳以下でレス トランサービス技能検定の取得者を対象に した「ヤングプロフェッショナル部門」の2 部門を設定し、将来のレストランサービスを 担う若人のサービス技術及び意識の向上を 目的として、毎年、開催するものです。

指導担当の諸先生、そして出場者の皆さん、 おめでとうございました。本校の教育指導、 学生の努力の成果でもあり、後輩への励み、 学校の名誉でもあります。毎年、上位入賞 を続けてきましたので、今後とも、こうした 伝統を継続して行ってください。

## 全員参加の海外研修旅行 ~通算、約25,000人が参加~

1972年開校以来、国 校長 石塚 勉 際人育成への具体的な 行動の一つとして、全員 参加の海外研修旅行を 継続してきました。

1973~1987年迄は2 年間に1回、円高の恩恵 もあり、1988~現在の



2019年は、卒業迄の2年間に2回;1年次 東南アジア、2年次欧米と、二つの異文化 体験を基本としてきました。現在では12月 ~2月の間、毎年、学生の大旅行シーズン を迎え、通算すると、47年間に約25,000人 が参加したことになります。2001年の米国 同時多発テロの年度だけ例外で、国内旅行 に切り替えました。

2018年度は、1年生349名がフィリピン; マニラ/セブ島へ、2年生69名がラスベガス /ロサンゼルスへ、2年生206名がイタリア 周遊へ、これにバンクーバー/メルボルンへ の留学専攻生30名、そして外国人留学生 や一部の日本人学生の関西~北陸への国内 旅行者32名を加えると、異文化体験を目的 に686名が海外/国内旅行をしました。参 加者には単位が付与され、昼間部では、産 学連携による実習費の積み立て充当、夜間 部では、2年次自由参加、1年次積み立てが、 体調不良者を除き、この全員参加の大旅行 を可能にしています。

今後、ますます国際化が進む日本社会、 外国人との共生する時代にあって、若い世 代での五感を通じて肌で感じる実体験が、 内外での実生活の色々な場面で生かされてき ます。こうした実体験で刺激を受け、多くの 卒業生が国際舞台で活躍しています。





## 第18回ブライダルゼミ発表会を実施

~ブライダル科設立20 年を記念して~ ブライダル科2年間の集大成オリジナルプランを業界関係者に発表

ブライダル科は、学科を発足してから20周年を迎えました。第18回目のブライダルゼミ発表会となる今年度はブライダル科設立20周年を記念し、2月15日にリーガロイヤルホテル東京で開催しました。

シャンパンサーベラージュで幕を開け、石塚勉校長の開催の挨拶、来賓を代表してBIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会会

長 勝俣伸様からのご挨拶、ブライダル科の学生による学校紹介・ブライダル科20年の歩みの発表に続き、本校の取り組みの一つでもあるレストランサービスのパフォーマンスを披露しました。

ゼミでは、夜間部2年生は産学連携の授業「卒業式袴展示会」活動報告を、昼間部2年生は架空の新郎・新婦に対して結婚式を提案する形式で様々な提案を、業界の方々115名を前に堂々と発表しました。





ブライダルゼミ発表会は、ブライダルコーディネートの授業内で1年時のブライダル関連授業で学習した内容を基本にプランを考えます。講師の指導を得ながら、学生自らが考え主体的に取り組む中で学習が展開します。発表を終えた学生の中には、総合賞を受賞して喜びに溢れて讃えあう学生、総合賞などの受賞がならず涙する学生などさまざまでしたが、今回参加した昼間部・夜間部ブライダル科2年生総勢117名全員が大きな達成感を感じている姿は大変印象的でした。







## 第36回全国専門学校英語スピーチコンテスト

~正木友梨香さん毎日新聞社賞受賞~

第36回全国専門学校英語スピーチコンテストが中央区立日本橋公会堂にて開催され、2年生英語専攻科 正木友梨香さんが毎日新聞社賞受賞しました。

本スピーチコンテストは、全国語学ビジネス観光教育協会、全国 専修学校各種学校総連合会、一般財団法人職業教育・キャリア教 育財団の3団体が主催、文部科学省、毎日新聞社毎日ウィークリー ザ・マイニチが後援、Boost Japan株式会社が協賛しています。

正木さんは、「A little Kindness」(ほんの小さな思いやり)という題材で、現在の日本人は困っている人がいても見て見ぬふりをするけれど、少しでも誰かの手助けをしてみませんかというメッセージを伝えていました。

正木さんの受賞は、第28回(2010年) 呉禮暻賞受賞以来の快 挙です。



## ホテル科ゼミ

~ホテル経営を模擬的に実践する~

ホテル科·英語専攻科2年生を対象に2年間の学習の総仕上げとするゼミを1月下旬から2月中旬に実施しました。

昼間部では「HMS (ホテル・マネジメント・シミュレーション)」、 夜間部では「HOP (ホテル・オペレーションズ・プログラム)」の授 業を行います。





「HMS」は、1年間のホテル経営を3日間で疑似体験する授業です。それぞれのチームが経営するホテルのコンセプトを決め、学生は社長以下、各部門の責任者一人ひとりが経営目標を達成するための意思決定を行います。ゼミ実施の3日間で1年間のホテル経営を行い、四半期ごとにその計画と実績を分析・照合しながら、経営の仕組みを理解します。学生がグループ討議をし、講師の指導を得ながら、主体的に学習することも特長の一つです。

「HMS」と「HOP」は本校と一般財団法人日本ホテル教育センターが共同で業界の経営者、および部門管理者を育成する目的で開発した、ゲーム的要素を取り入れたホテル経営を学ぶ世界で唯一の総合的な独自のホテル経営シミュレーション教育プログラムです。

## 異文化を体験する海外研修旅行を実施

~1年生:フィリピン 2年生:アメリカ、イタリア~

本校では、教育理念のひとつである「国際的視野に立脚した人間の育成」のもと、国際理解や異文化に触れることを目的とし、1年次、2年次とも学年末に海外研修旅行を実施、全員が参加します。海外のホテル・観光事情を学び、在学中に異なった2つの文化圏を体験することを目的に、この海外研修旅行はカリキュラムに含まれており、2018年度は、1年生がフィリピンへ、2年生がアメリカ、イタリア(選択制)へ旅行しました。



1年次に行うフィリピン海外研修旅行は、本校と提携するパーペチュアル・ヘルプ・大学(UPH)の全面的な協力のもと、日本では決して体験することのできない貴重な経験をすることができます。









## レストラン事業プレゼンテーションを実施

~レストランマジメント1年間の総まとめ~

昼間部2年生ホテル科・英語専攻科を対象としたレストランマネジメントの授業の総括、1年間の総まとめとしての店舗企画プレゼンテーションとして課題発表会を12月19日~21日の3日間に亘り行いました。

この店舗企画プレゼンテーションは、レストランマネジメントで学んだ授業のみならず、2年次の「ホテルマネジメント」「ホテルマーケティング」「ホテルデザイン」「ホテル会計」「ホスピタリティ実務」「ホテル会計」で体得した内容を活かしながら課題に取り組みます。

レストランマネジメントの授業の総括として、各クラスで2~3チームをつくり、課題に沿ったレストランの事業計画を各チームで立案し、レストラン経営を専門とする講師や学校内の教職員による審査を行い、勝ち残った6チームが最終日の決勝戦に臨みました。

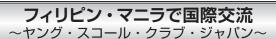
決勝戦では審査員の先生をお客さまに見立て、自らが立案した店舗(店舗の雰囲気やテーブルコーディネート、店舗BGMなど)をつくり、



その店舗内で企画案のプレゼンテーションを行います。実際に食事をサービスするなどの実演もあり、食事は(1) ノンアルコールカクテル(2) オードブル(3) デザート(ゲリドンサービス) の3種類を提供します。

課題発表会・レストラン事業プレゼンテーションを通して、レストラン事業の立案を経験し、 改めてレストランを経営するために必要な知識や考え方を理解する機会になります。

審査員を担当した教職員は「入学直後のときと比較すると学生のサービス力、発想力に成長を感じた」「テーマ設定から情報収集、分析、収支計画までしっかりと検討された内容でプレゼン力も備わって、見ごたえのある発表でした」と評価していました。





この交流会は、本校学生のヤング・スコール・クラブ・ジャパンメンバーにとって異国の地で将来業界リーダーになるために自分自身を磨く事、日本以外の物事に目を向ける事、実際に本物を五感で感じることができる旅行そのものの意義と人間関係を構築する為の意識を持つ機会になっています。





海外研修旅行でのフィリピン訪問に併せて、マニラのスコール・クラブメンバーの Ms. Patria Chiong 氏をお招きし、Young Skal Club の国際交流会を実施しました。

Young Skal Club は観光業界の世界的な交流組織である Skal Club (スコールクラブ) の青年組織です。2015年に英語専攻科の学生を中心として活動を開始し、海外の会員と積極的な交流を図っています。

国際的な場への参加は学生たちにとっても大変貴重な経験となりました。





## 文部科学省「インバウンド対応人材育成事業」

~情報交換を行う~

文部科学省 委託事業「専修学校による地域産業中核的人材育成事業: 大分・おんせん観光インバウンド対応人材育成事業」遂行の一環として、 関係者の方々が来校、情報交換をしました。

来校したのは、学校法人明日香学園を主体とする実行委員会:同学園/田中義人役員室長、大分県立芸術文化短期大学/宮野幸岳准教授、立命館アジア太平洋大学/Geunhee Lee 准教授、別府溝部学園短期大学/足立美和子特任准教授の皆さんです。

今後も全国各地でインバウンド対応人材育成に向けての様々な取り組 みが活発になっていきます。



## 留学生の餅つき体験

~日本の文化を体験~



1月8日、新年を迎え、日本らしいお正月を味わってもらおうと、 餅つき体験を開催しました。2年生の留学生を中心に、日本人学生、 教職員が参加。初めて餅つきを見る学生や、積極的に餅をつく学生など皆興味津々。つきたてのお餅はきなこ、あんこ、大根おろ しで頂きました。

また、中村義宗先生の自宅で採れた白菜、大根のお漬物や、 自家製の栃木の郷土料理「しもつかれ」もテーブルに並び、賑や かに楽しい時間を過ごしました。







## クラブ活動紹介

### フットサル同好会

「シャングリ・ラホテル東京」のフットサルチームと大崎駅前の「Think Park Arena FUTSAL Club」で合同練習を行いました!

シャングリ・ラホテル東京/総支配人マーカス・バウダー氏も参戦、ホテルスタッフと学生合わせて約30名が参加しました。同好会の中には、シャングリ・ラホテル内定者(2年生)や次年度の就職を目指している学生(1年生)もおり、始めは緊張した様子でホテルのスタッフの方となかなか話しが出来ませんでしたが、試合を行っていくうちに緊張も和らぎ、普段通りのプレーで楽しむ事が出来ました。

試合間には、ホテルスタッフの方々から積極的に学生達に話しかけて頂き、就職活動の仕方や、アルバイトの話など、普段の同好会活動では得られない貴重な体験をさせて頂きました。



今後もフットサル同好会では、普段の活動のほか、企業の方や卒業 生などと積極的にコミュニケーションを取れる場所を在校生に提供して いきたいと考えています。

### 軽音楽同好会





軽音楽同好会では、毎年「卒業記念パーティ」でライブを実施しています。メンバーは、毎年12月頃から貸スタジオにて卒業式に向けて練習をしています。

今後少しづつ機材を整えていく予定ですので、校内での練習も 可能になると思います。初心者の方も大歓迎ですので、興味のあ る方は顧問までご連絡下さい。 顧問:下田憲司

## 教職員のクラブ活動「JHSテニスクラブ」

現在、職員のクラブ活動として、ゴルフクラブと映画鑑賞倶楽部があります。様々な活動を通し、職員間の交流を深めるべく、本校では福利厚生の一環として職員のクラブ活動を推進していますが、この度新たなクラブ活動「JHSテニスクラブ」を創設しました。



# ~ JHS 同窓会便り~

## 卒業生(1994年卒業 楠井学氏)が総支配人に就任

~2020年夏開業予定のラグジュアリーホテル(仮称京都二条ホテルプロジェクト)~

本校を1994年に卒業した楠井学さんが、三井不動産株式会社が京都市中京区において進めているプロジェクト(仮称)「京都二条ホテルプロジェクト」の総支配人に就任されました。

現在、17世紀末頃より昭和中頃まで250年以上にわたり三井総領家(北家)の居宅がある三井不動産グループとゆかりのある地で、グループ直営のフラッグシップとなるホテルの工事を進めています。楠井さんは2020年夏の開業を予定しているフラッグシップホテルの総支配人としての就任が決定しました。

楠井さんは1994年に本校を卒業した後、パークハイアット東京の開業メンバーとして入社され、ハイアットリージェンシーサイパン、マンダリンオリエンタル香港、ザ・リッツ・カールトン東京営業部長、フォーシーズンズホテル丸の内東京セールス&マーケティング部長など国内・海外の外資系ラグジュアリーホテルでさまざまな経験を積まれた後、マンダリンオリエンタル東京副総支配人セールス&マーケティングという立場で、ホテルの売り上げ、営業統括、マーケティング戦略の立案・実行など重責を担われてきました。





また、2016年3月には昼・夜間部の学生を対象とした 就職活動の一環とした学内会社説明会で、ゲストスピー カーとして来校し、楠井さんよりご自身の経歴、さまざ まな外資系ホテルでのご経験、そして、ホテル業界で求 められている人材像についてなど在校生に向けて幅広い 内容をお話いただきました。



# 「JHSゴルフクラブ」ゴルフコンペを開催

~卒業生、教職員13名が参加~



12月3日、千葉県長生郡の長南カントリークラブで6回目となる「JHSゴルフクラブ」開催しました。

卒業生と教職員合わせて13名が参加、飯沼学さん(2001年卒)が2位に大差をつけて見事優勝しました。

本クラブは、幅広い年代の卒業生と教職員の交流及び卒業生相互の交流を深め、情報交換、親睦、ネットワーキングを図ることを目的に、2016年4月1日に発足。2018年11月22日現在、卒業生の会員は26名、そのうち女性は6名です。

主な活動は、年2回、春と秋にゴルフコンペを開催と年1回の懇親会を行います。 会員の年会費は不要、都合がつく時に参加できますので、少しでも興味のある方は、お気軽に同窓会事務局までご連絡下さい。

■「JHSゴルフクラブ」に関するお問い合わせ

担当:石塚崇 TEL:03-3360-4631 E-mail:t.ishizuka@jhs.ac.jp

## ◆◆◆「ホテル業界就職ガイド2020」に5名の卒業生が掲載されました◆◆◆

ホテル業界への就職をめざす方のためのバイブル『ホテル業界就職ガイド』(株式会社オータパブリケイションズ発行)に卒業生のインタビュー記事が掲載されました。『ホテル業界就職ガイド』は、ホテル業界へ就職をめざす方が読まれている大変人気のあるガイドです。帝国ホテル東京 宿泊部 山田将己さん(2008年卒)、ザ・ゲートホテル雷門/東京 by HULIC 運営部運営課 平野里奈さん(2013年卒)の2名のインビュー記事が巻頭カラーメッセージページの特集に、パークハイアット東京 宿泊部 山崎アーサーさん(2015年卒)がホテルユニフォームコレクションページで、NOHGA HOTELで Team Create 鈴木孝典さん(2008年卒)、ヒューリックホテルマネジメント株式会社(ザ・ゲートホテル雷門)武藤渉さん(2017年卒)がホテル業界合同会社説明会2020 出展企業特集の各企業紹介ページに掲載されました。





# 

## 第8回学生観光論文コンテスト表彰式を東京ビッグサイトで

-懸賞金100万円は、相模女子大学 (50万円)、横浜国立大学 (25万円)、琉球大学 (25万円) の3校へ~

(一財) 日本ホテル教育センターは、(一社) 全日本シティホテル連盟の協賛を受けて、(公財) 日本ナショナルトラストと共催で、昨年末、 全国の大学・短期大学・専門学校の学生を対象とした第8回「学生観光論文コンテスト」を実施し、2月19日に東京ビッグサイトにて受賞者、 審査委員ほか関係者の出席のもと表彰式が執り行われました。



## 最優秀賞【観光庁長官賞】

相模女子大学 学芸学部 英語文化コミュニケーション学科 小泉ゼミ4年 北村里奈(代表)・小此木玲奈 テーマA『日本における多文化共生の食文化への対応 ~食のコミュニケーションツールでホッと(HOT) 快適な日本に~』

### 優秀賞【公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞】

横浜国立大学 経営学部 大沼ゼミ3年 山崎正弘(代表)·加藤春乃·加藤綾華 テーマB『伝統工芸品から考える魅力的な地域づくりのあり方 ~お稽古産業の活性化を通して~』

### 優秀賞【一般社団法人全日本シティホテル連盟会長賞】

琉球大学 観光産業科学部 観光科学科 観光政策研究ゼミ4年 屋比久可南子(代表)·栫祐太朗·名嘉章吾·徳田真奈美 テーマA『地方も都市も見る観る向上プロジェクト

学者の10名により構成されています 度 第8回学生観光論文コンテスト 表

高めること目的としています。









~留学生モニターツアーを活用した地域振興策の提案~』

# 見光旅游局の陳盛山局長ら

## 日本旅館国際女将会

1995年、日本旅館国際女将会は、日本旅館の文化を海 外に広く紹介し、訪日外国人旅行者の拡大促進に努めると 共に、会員相互の親睦と情報交換をとおして、旅館の品質 向上と旅館業の国際化を図り、本会及び旅館業界ならびに わが国の観光業界の健全な発展に寄与することを目的として 設立されました。「Ryokan」「Okami」の二文字が国際語と して通用することを目指しています。

一般財団法人日本ホテル教育センターは、日本旅館国際 女将会を支援しています。

## 日本旅館国際女将会 ~台湾 台中花博を視察情報交換を行う~

このコンテストは、2010年から国土交通省観光庁の政策を支援 する意味で開始、日本の観光産業へ若い世代の人達の興味関心を

2018年度は、①"世界が訪れたくなる観光立国ニッポンを目指して、 私の提案"、②"自然や文化を活かした魅力ある地域づくり~ナショ ナル・トラスト活動でできること、私の提案"、③"我が国のMICE (マ イス) 競争力強化に向けて、私の提案"の3つのテーマを設定、全 国の41大学・2専門学校より94編の応募をいただきました。うち7 編が最終審査に進み、10名の外部審査委員により、最優秀賞1編、 優秀賞2編の合計3編の受賞者を決定しました。尚、審査委員は、 国土交通省観光庁をはじめ、観光に造詣の深い業界人、業界誌紙、

日本旅館国際女将会(長坂正惠会長=下呂温泉しょうげつ)は12月4 ~6日の日程で台湾を訪れ、「2018台中フローラ世界博覧会」(台中花博) を視察、台中市政府観光旅游局の陳盛山局長らとの交流会を開きました。

日本旅館国際女将会の台湾公式訪問は、2005年に実施した、旅館・ ホテル文化の国際交流を推進し、旅館・ホテル業界の発展向上に資する ことを目的として実施したイベント、「女将・イン・台湾」、昨年の7月に台 中市政府観光旅遊局の支援のもと実施した、観光業界団体役員、温泉 旅館経営者、ホテル経営者らとの交流・情報交換会と3回となります。





編集責任者:石塚 勉 編集担当:黒沢由美子

連 絡 先: 03-3360-8231 kurosawa@ihs.ac.ip